

発行日: 2010年03月31日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 :1-0うすめ液
推奨用途 :塗料用うすめ液、その他
会社名 :大阪塗料工業株式会社
住所 :大阪府大阪市城東区古市3丁目4番20号
担当部署 :技術部
担当者(作成者) :森田 和宏
電話 :06-6934-3271
FAX :06-6934-3250

E-mail :morita@osaka-toryo.com
緊急連絡先電話番号 :06-6934-3271
製品番号(MSDS NO) :41471-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

吸引性呼吸器有害性:区分 1



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気

皮膚刺激

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

予防

熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。 - 禁煙。

容器を密閉する。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用する。

静電気対策を講ずる。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

対応

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗う。

皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。

吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。
水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。

保管

換気の良い場所に保管する。低温に保つ。

廃棄

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

分類の名称(分類基準は日本方式)

引火性液体

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

化学的特定名 :塗料用ソナー

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管(PRTR)法政令 番号
合成イソパラフィン系炭化水素(表示義務なし)	< 95	68551-16-6	-
n-ノナン	0.1 - 1	111-84-2	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」に該当する成分は含有していない。

労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分

n-ノナン

4. 応急措置

一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
まず、送り状記載の応急措置照会先に電話する。送り状がない場合や応答がない場合、関連機関のデータベース等に照会する。

吸入した場合:

呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合:

皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。

直ちに医師に連絡する。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

飲み込んだ場合:

無理に吐かせてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

火災/注意 : アルコールまたは極性溶媒を高濃度に含む混合物には耐アルコール泡がより効果的である。

火災/注意：これらの物質は引火点が極めて低い。消火の効果が不十分なときは散水する。
化学品から生ずる特定の危険有害性
蒸気が発火源まで達し、フラッシュバックするおそれがある。
消火作業用の特別な保護具と予防措置
防火服は限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

区域より退避させる。

適切な保護具を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

環境に対する予防措置

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込めおよび浄化方法と機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

二次災害の防止策

蒸気濃度を低下させるために発泡抑制剤を用いてもよい。

低地から離れる。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

必要な個人用保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)

熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。 - 禁煙。

容器および受器を接地/結合する。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用する。

静電気対策を講ずる。

注意事項

多くの液体は水より軽い。

安全取扱い注意事項

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所に保管する。低温に保つ。

8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

許容濃度

(n-ノナン)日本産衛学会(1989) 200ppm; 1050mg/m³

(n-ノナン)ACGIH (1992) TWA: 200ppm (中枢神経系損傷)

適切な工学的管理

適切な換気のある場所で取扱う。

- 排気/換気設備を設ける。
- 個人用保護具などの個人保護措置
- 呼吸器用の保護具
 - 呼吸用保護具を着用する。
 - 換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。
 - 手の保護具
 - 保護手袋を着用する。
 - 目の保護具
 - 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 - 皮膚及び身体の保護具
 - 顔面保護具を着用する。
 - 保護衣を着用する。
- 適切な衛生対策
- 眼、皮膚、または衣類に付けない。
 - 妊娠中/授乳期中は接触を避ける。
 - 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 :非水溶性液体
 - 色 :無色
 - 臭い :特有臭
- 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
- 初留点/沸点 :166
 - 引火点 :49
- 爆発特性 :引火または爆発範囲の
- 下限 :0.6 vol %
 - 上限 :6.2 vol %
- 比重/密度 :0.76 g/cm³
- 水に対する溶解性 :不溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

- 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

吸入毒性成分データ

(n-ノナン)ラット LC50 3200ppm/4H

12. 環境影響情報

生態毒性

水溶解度

(n-ノナン)0.7 g/100 ml (20 C) (ICSC, 1995)

生態蓄積性

(n-ノナン)log Pow=5.65 (ICSC, 1995)

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
廃棄物処理法
特別管理産業廃棄物: 燃焼しにくいものを除く

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1263

クラス :3

容器等級 :III

適切な積荷名称 :塗料

指針番号 :128

海洋汚染防止法

有害液体物質(X類):n-ノナン

15. 適用法令

労働安全衛生法

危険物・引火性の物 (30 C ≤ 引火点 < 65 C)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):n-ノナン

消防法

第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III

船舶安全法

引火性液体類

航空法

引火性液体

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 15th edit. UN

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2008 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250 (2005年)「化学物質等安全データシート」

原材料/製品メーカーMSDS

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識および経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。